

# 自己組織化による地域コミュニティづくり

## ～「京都市未来まちづくり100人委員会」と「Teal組織」のフィロソフィー～

まちづくりにとって「市民」は、なくては成立しない最重要な要素といえます。また不確実性の高い現代社会において持続可能な地域を実現するためには、行政や政治、専門家などの「お上」だけが主体となるまちづくりでは困難です。近年、自らがまちの主体となって行動する能動的な市民を増やし、実践型のコミュニティを形成していく、新しいパラダイムでのまちづくりが広がってきています。

今回は、京都にて市民主体のまちづくりの仕組み「京都市未来まちづくり100人委員会」に取り組み、その後、海外から新しい実践理論「Teal組織」を日本に紹介した嘉村賢州さんをゲストに迎えます。京都市未来まちづくり100人委員会は、かつての行政がお膳立てする「市民参加」とは違い、自分たちが議題を考え、自ら行動することに主軸をおいた、全く新しい委員会でした。Teal組織もまた、旧来のヒエラルキーで管理される機械的な組織でなく、ひとつの生命体のようにフラットな関係性のもと、構成メンバー一人ひとりに権限や責任が任される新しい組織のフィロソフィーです。これらの事例をもとに、これからの時代のまちづくりのあり方を、みなさんと考えたいと思います。



日時：令和4年1月17日(月) 18:00～19:30

開催方法：オンライン (Zoomを利用・参加無料)

### プログラム

司会・進行：西尾 直樹(株式会社聴き綴り本舗/北海道大学CoSTEP)

#### 1 日本都市計画学会北海道支部まちづくり研究会の紹介

担当幹事 池ノ上 真一 (札幌国際大学 教授)



#### 2 インスピレーショントーク(45min)

嘉村 賢州 氏 (NPO法人場とつながりラボhome's vi / 東京工業大学)



#### 3 参加者とのディスカッション(30min)

#### 4 本日のふりかえり

**ゲストプロフィール (写真右)**  
1981年、兵庫県生まれ。京都大学農学部卒業。2008年に組織づくりやまちづくりの調査研究を行うNPO法人「場とつながりラボhome's vi (ホームズビー)」を京都で立ち上げ、代表理事を務める。2015年に1年の休暇をとって世界を旅する中、新しい組織論の概念「ティール組織」と出会い、日本で普及活動を行っている。2018年、東京工業大リーダーシップ教育院の特任准教授に就任。

参加申込はこちらから

<https://cpij-hokkaido-fgpj-salon-2021-vol4.peatix.com>

